

ONESOURCE DataFlow 2018

既存のタックスパッケージとワークペーパーを最適化

多国籍企業は、多くの場合、税務のライフサイクルにおいて、世界中のさまざまなリソースからデータを収集します。税務は一刻を争います。ただ残念なことに、税務部門の多くが、Microsoft® Office Excel タックスパッケージの管理や統合、新しい書類の再送、回答者の特定に時間をかけすぎており、それらの作業が管理部門や組織全体の負担になっています。では、従来の使い慣れたタックスパッケージの使用感はそのままだ、それを整理し統制できるようにするには、どうすればよいのでしょうか。

ONESOURCE™ はそれを可能にします。ONESOURCE DataFlow 2018 では、統制、検証、前年度のデータの呼び出しなどの機能によって、既存のタックスパッケージとワークペーパーを標準化することで、準備時間を短縮できるとともに、データソースから税務アプリケーションにデータを直接取り込むことができます。

DataFlow 2018 は ONESOURCE において、データ収集とワークペーパーの標準化の中核的ハブとして機能します。DataFlow 2018 の共通テンプレートを利用することで、多くの拠点からデータを収集し、そのデータを一元管理できます。また、共通テンプレートを利用すれば、複数の Excel ファイルやそのバージョンを管理するための負担が大幅に軽減されます。さらに、DataFlow 2018 はプロセス全体のフレキシビリティを高め、その流れを可視化することで、グローバルにおけるデータ収集プロセス管理の効率化を実現します。



タックスパッケージの作成・変換

DataFlow 2018 では、Excel の機能が拡張され、これによって、ウェブベースのテンプレートをカスタマイズしながら自在に作成できます。また、従来の Excel ベースのワークペーパーやタックスパッケージを使用しながら、DataFlow 2018 の独自の機能でそれらの利便性を高めることができます。これらのテンプレートは DataFlow 2018 に簡単に読み込み、使い慣れた Excel データコレクション・ワークブックの形でリクエストを出すことができます。

DataFlow 2018 の主なメリット

- DataFlow 2018 は、直感的なユーザーインターフェースを備えており、少ない時間でより簡単にタスクを完了できます。また、アプリケーションには、どのブラウザからでもアクセスできます。
- エンティティ、ドメイン、管轄区は、ONESOURCE のプラットフォームで保存・統合される共通の属性です。よって、それらの属性を一元的に管理することにより、重複する作業をなくすことができます。
- 新しいテーブル構造の採用によって、テンプレート作成機能のコンセプトが一つに統合されました。この新しい構造は必要な柔軟性を備えるとともに、従来のコンセプトと同等のパフォーマンスを実現します。
- DataFlow 2018 の添付資料は、新しい文書管理システムに保存・統合されます。これによって、文書の保存が効率化されます。
- The DataFlow 2018 のユーザーインターフェースは、英語以外の言語に翻訳されているため、現地の使い慣れた言語でアプリケーションをご利用いただけます。
- 外部の APIs (アプリケーション・プログラミング・インターフェース) を利用することで、DataFlow 2018 に第三者のシステムを統合でき、ONESOURCE の機能を拡張できます。

